

## 第38回研究会

# 「経営デザインシート活用事例発表研究会」

2024/11/21 19:00～21:00

経営デザイン分科会

### <zoom設定のお願い>

**氏名を漢字フルネーム**でお願いします（ふりがな歓迎）

**カメラON・マイクミュート**でお願いします

### <質問について>

ご質問はチャットにお願いします。

すべての質問にお答えできないことをご了承ください。

## 1. 分科会の活動について

## 2. 事例発表

**「公益社団法人日本青年会議所 関東地区協議会 国際競争力向上委員会の  
経営デザインシート活用事例」**

**永嶋 寛也 氏**

株式会社コスモプラン 専務取締役（宅地建物取引業）

一般社団法人真岡青年会議所 副理事長

公益社団法人日本青年会議所 関東地区協議会 国際競争力向上委員会 副委員長

**長田 祐美 氏**

順天堂大学附属病院 医療コーディネーター/フリー アスレティックトレーナー

東京青年会議所 文京区委員会所属

公益社団法人日本青年会議所 関東地区協議会 事務局次長

## 3. 次回のご案内

# 高付加価値化経営 ロールモデル策定を目指して

公益社団法人日本青年会議所  
関東地区協議会  
国際競争力向上委員会  
副委員長 永嶋 寛也

■名前 永嶋 寛也

■年齢 36歳

■出身 栃木県真岡市

■職業 不動産会社役員

■所属 株式会社コスモプラン(専務取締役)

一般社団法人真岡青年会議所(副理事長)

公益社団法人日本青年会議所関東地区協議会

国際競争力向上委員会(副委員長)



■略歴 大学卒業後、都内不動産業者での勤務を経て地元栃木県真岡市へ帰省。父が経営する株式会社コスモプランへ入社。同社に専務取締役として従事する傍ら、(一社)真岡青年会議所において地域貢献と自他の成長を目的として活動。2024年度は出向先の関東地区協議会において国際競争力向上委員会の副委員長として、高付加価値ロールモデルの策定を目指し活動。

# 3月に近藤様へ講師を依頼した背景

## 今年度の近藤様との活動

- ① 三月に浦安市において経営デザインシートについての講演を依頼
- ② 8月～10月まで希望者三名の経営デザインシートの製作面談を依頼
- ③ 11月台湾（JC世界会議）での事業発表における発表資料の監修

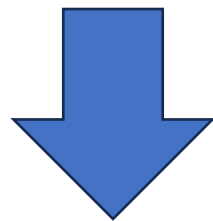
公益社団法人日本青年会議所関東地区協議会

2024年度 会長所信一部抜粋（公益社団法人日本青年会議所HPより）

## 【国際競争力の向上】

イノベーションによって新たな付加価値を生み出し、これを社会に実装するための環境の整備を関東地区協議会が積極的に先導していきます。高齢化や人口減少は、今後、様々な国が迎えるサイクルです。世界に先駆けて「高齢化＋人口減少」に最適化した経済システムを構築し、世界のロールモデルを創出します。

高付加価値化経営のロールモデル策定



経営デザインシートを活用した事業改革

- ①株式会社ウラタ 代表取締役 浦田一哉様講演  
どのように付加価値と高めたか  
海外での事業について（カンボジア）
- ②近藤泰祐様、強瀬理一様、関大地様講演  
経営デザインシートについて  
株式会社ウラタの価値創造メカニズム解説
- ③グループワーク  
自社らしさシート

## 当日の様子



## 参加者の反応（アンケート結果）

### 【自社の既存事業を変革する意欲を高めることができたか】

「すぐにでも取り組みたい」47.7%と参加者の半数を占め「いずれかは取り組みたい」31.4%を含めると79.1%。

「海外進出を考えていたのでありがとうございました」  
「多角化経営を自社に考える良い機会をなった」等の感想

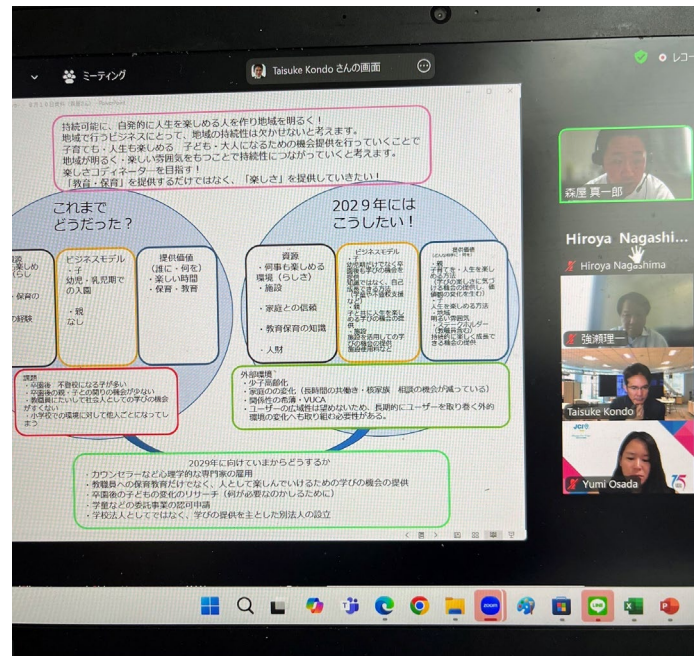
### 【自社の潜在的な価値を見出すことができたか】

95.4%の方が自社の特徴を把握することができた。

「自社を客観的に見る機会がなかったので客観的に見た強みを伸ばしたい」  
「自社の強みを改めて気づくきっかけになりました」等の感想

# 経営デザインシートフォローアップへ

## 参加者の反応（アンケート以外） 経営デザインシートの作成ワークショップへの応募



# 今回作成した経営デザインシート

## Education Diplomacy (教育外交) ～子どもから生まれる国際交流～

これまで  
どうだった？

資源  
・教育・保育の  
知識豊富な人材

・長年の経験  
  
・施設  
  
・地域とのつながり

ビジネスモデル  
・認定こども園  
幼児・乳児期の  
教育・保育

・収入源  
保護者からの保  
育料  
県・市町村から  
の委託金・補助  
金

提供価値  
(誰に・何を)  
・子  
(0～5歳児)  
子どもが初めて触れ  
る社会

楽しい体験  
・親  
安心して預ける環境  
  
・地域  
大切な未来(子ども  
の地域での活躍)

課題

- ・資源を有効活用して新たな高付加価値のサービスの提供
- ・新たなステークホルダーとの協力で高付加価値を高める

2027年には  
こうしたい！

資源  
・両国での教育者  
同士の連携

・地域資源  
(自然・文化)  
  
・施設  
両国での教育  
保育施設  
  
・両国の教育保  
育知識  
  
・行政とのつながり  
・ライセンス仕組み

ビジネスモデル

・内容  
国際交流と異文化  
体験学習  
  
・対象者  
幼児期の親子  
教育・保育関係者  
  
・両国の休日の  
違いを活かす  
(例)旧正月や  
  
・収入源  
親  
行政  
他の教育機関への  
ノウハウライセンス

提供価値  
(どんな相手に・何を)

・地域  
連携を結ぶた地域間  
の協力関係  
  
地域の魅力の発信  
による旅行者の増加  
特色ある幼児教育の  
提供  
  
・子  
(5～6歳児)  
違いを楽しめる価値観  
自身のアイデンティ  
ティ向上  
  
・親  
違いを楽しめる価値観  
国際理解の向上

外部環境

国内  
様々な分野でのグローバル化が求められる  
企業 グローバル化が進んでいる  
地域 地域振興としてのインバウンドが注目される  
世界  
グローバル化が進む一方で、思想や文化の違いからの分断が起こっている

2027年に向けていまからどうするか

- ・地域行政の理解 (地域の国際交流の一環として)
- ・両国の教育機関どうしの連携強化
- ・地域での新たなステークホルダーの発掘

# 11月1日日台交流事業について

会場の様子



森屋様発表の様子



# ①台湾において日本の取り組みを発表

→両国の社会課題に対するアプローチを学び合う機会

# ②海外での事業実施

→現地の文化や人間性を理解する必要性



# 0歳から一生涯の身体作りに貢献する

メディカルトレーナー  
長田 祐美



■名前 長田 祐美

■年齢 35歳

■出身 千葉県船橋市

■経歴 市立船橋高校

■職業 アスレティックトレーナー

■アスレティックトレーナー (AT) とは  
スポーツ医学に特化した知識・技術を活かして  
怪我の予防やパフォーマンス向上を目的とした  
トレーナーです。現在は予防とリハビリテーション  
両方実施しています。



## ATの存在意義・パーパス

### ・活動の場

一般的にプロチームにはATが存在するが経験や実績は競技・チーム状況による。

→資格の合格率が15%

資格を取得しても活動しているのが30%未満



とにかく狭き門！

### ・資格の特性

「医療行為が可能な人」と認識されがちだが実際にはスポーツ指導資格。

→様々な資格背景がある事を理解し、自分ができる事・他の専門家が可能な事を理解し、連携をする事が重要

→「就職」という概念がない。  
単年度制で雇用として不安定

# 私が気になる社会課題(外部環境)

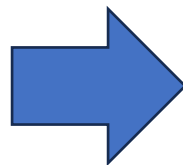
## 外部環境

### スポーツチーム

そもそもトレーナーに払うだけの経済力があるスポーツ、チームが少ない。

### トレーナー個人

とにかく経験値が必要な職業。  
チャレンジする度胸と  
資格を取ってゴールではなく  
その後も学び続ける根性が必要。



ATとしての活動に限界がある。  
個の問題と業界の課題両方ある。

今後スポーツで活躍する選手の  
サポート及び、高齢化社会に備え  
身体作りや経験値のあるATが必要！

## トレーナーとしての課題

現在ライザップさんの影響で「パーソナルトレーナー」という職業が増え、活躍の場や運動習慣がついたことで社会に良い刺激になっている。

### 新規事業①

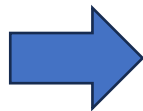
医学知識を持ったトレーナーの育成

### 新規事業②

ATという職業を社会に広める

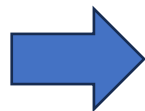
## 医学知識を持ったトレーナーの育成

・資格取得が課題にならない様、実習期間の充実  
・フリーで活動しているトレーナーのコミュニティ形成



- ・ATという資格の正しい認識の認知  
選手や患者の心身両方の医科学的サポート
- ・資格取得(基礎筆記試験の勉強)以外の教育  
より良い指導が出来る為の知識や技能の提供
- ・生涯トレーナーとして活動し質の高いサービスを提供できるメソッドの構築

ATという職業を  
多くの一般人に広める



## 対処療法から予防へ

- ・怪我をしてから、違和感が出てから対応しても出来る事は限られている実態を指導
- ・場合によっては、痛み止めのみの対応しかして貰えず具体的な指導がない為、路頭に迷ってしまうケースがある。→寄り添い人となる。
- ・身体作りや身体能力は幼少期からの影響が大人になっても続く。→正しい知識を大人も学ぶ必要がある。



# ビジネスモデル(その価値をどのように実現するか)

- ・ATと言う職業があまり知られていない為、医療機関と協力体制を作る
- ・30代、40代など子育て世代をターゲットに正しい知識を提供する
- ・難しい……

# 自社が取り組む意義(自社らしさ(特徴・資源・経験値)がどのように発揮されるか)

## ・社会性

社会全体の課題として

## ・専門性

野球やサッカー、バスケットなど多岐にわたる

## ・ビジネス観点

コミュニケーションや相談されやすい雰囲気作り

## 2028年計画実行に向けての展望



- ・地域行政の理解・協力を得る

出産前後の身体や心のケアを行う事、高齢者や生涯リハビリテーションのサポート

- ・パートナー企業の発掘

医療法人？

- ・新たなステークホルダーの発掘

予防、リハビリ知識以外にもヘルスケア部門や運動習慣を増やす為の企画が必要

## 最後に

高校生の時に会ったトレーナー(PT・AT)に憧れ、人生で初めて勉強をしましたが目の中の課題をただ熟す事に没頭した10年間でした。

5年前に青年会議所に入会し「1mmでも良いから社会を変える」というスローガンに共感し自分に求められてるものは何かを考えながら活動してきましたが、ここまで自分の仕事や未来の展望を考えたのは初めてでした。

ATという数少ないトレーナーで新型コロナウイルスの影響を受けつつも続けられた事に感謝し、明るく元気な日本を創る為に益々精進いたします。

### 福岡県中小企業家同友会「経営実践塾」での取り組み紹介

#### (1回目)

日程：2025年1月16日（木）19:00～21：00

実施方法：オンライン（zoomミーティング）

#### <登壇者>

高田 龍弥 氏（特許庁 普及支援課）

吉浦 茂弘 氏（株式会社ティーディーエス代表取締役）

ほか

#### (2回目)

日程：2025年2月20日（木）19:00～21：00

実施方法：オンライン（zoomミーティング）

#### <登壇者>

松尾 憲親 氏（株式会社大建代表取締役）

ほか

申込方法：日本知財学会の経営デザイン分科会ページより

ご参加ありがとうございました

アンケートへのご協力をお願いします

<https://jp.surveymonkey.com/r/FVGFDKC>